

# 心豊かで元氣あふれる村づくり

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

昨年は一月に熊本で、二月には北海道で、六月には新潟村上で、三つの大きな地震に見舞われ、九月には台風十五号が首都圏を直撃し、更に十月には台風十九号が過去に例を見ない降雨で、聞き慣れない「大雨特別警報」が発令されるなど、広い地域で甚大な被害が発生しました。本村においても床上床下浸水のほか農業関係178件、土木関係66件の大きな被害が発生し、現在も復旧に懸命の努力をいたしております、春の作付けに間に合わせるため、全力を挙げて参りたいと考えております。亥年は過去のデータから見ても、災害の多い年とされておりますが、正にそうだと実感した一年でありました。

一方、明るい話題として

は、令和初となりました「第31回福島県縦断駅伝競走大会」で、最後まで諦めない精神での努力が結集し、総合十七位、村の部準優勝を

次第であります。本当にありがとうございます。本年も、選手・監督・コーチ・サポート一丸となって、更に記録更新を目指してく



久保木正大 村長  
Masao Kuboki

成し遂げて頂き、勇気と感動を与えて頂いたところがあります。選手は勿論の事、関係者そして応援頂いた皆様に心から感謝申し上げます

ださいますようご期待申し上げます。なお、今年はカントリーヴィレッジ周囲に間もなく全長1,115メートルのクロスカント

リーコースが完成します。ウォークラリー等のイベント開催や駅伝チームの本拠地として、広く健康増進・観光拠点として活用を図る考えであります。

本年も、人口減少に歯止めをかけ若い世代の方々に定住頂くことが最重要課題との観点から、雇用対策、住宅対策、経済支援対策、教育対策に加え医療福祉対策などについて、引き続き積極的に取り組んで参りたいと考えております。

さて、今年の干支は「庚子」（かのえ・ね）です。干支は十干と十二支の組み合わせで六十通りあるため、干支は六十周期で循環します。次に子年になるのは十二年後の二〇三二年ですが、次に庚子になるのは六十年後の二〇八〇年になります。還暦という概念はここからきているそうです。

ります。

庚子は変化が生まれる状態、新たな生命がぎざし始める状態なので、全く新しいことにチャレンジするのに適した年と言えるそうです。今年一年あらゆることに頑張って頂くのも一つだと思います。

私たちも、気持ちを新たに職員と一丸となって、明るく住みよい「心豊かで元氣あふれる村づくり」を目指して参る所存であります。

村民の皆様の益々のご繁栄とご健勝を、心からご祈念申し上げます、年頭の挨拶といたします。



# 新年を迎えて

新年あけましておめでとうございます。

村民の皆様におかれましては、令和最初の新春を健やかに迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

また旧年中は議会へのご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございました。

議会を代表しまして御礼申し上げます。

昨年は平成が終わり、新しい希望に満ちる令和の時代を迎えた大きな節目の一年でありました。村議会においては、9月に改選があり、10月より新人議員も加わり新体制でスタートを切りました。全ての議員がその職責の重さを認識して、新たな気持ちで初心を忘れず村づくりに取り組んでおります。また、日本全体をみますと、台風等による土砂災害等の自然災害が特に

多い年でもありました。大型台風による日本各地での豪雨では、想像を超えるような出来事が各地で次々に起こり心を痛めるような情

て村民の皆様の生命、財産を守ることの大切さを痛感した年であり、地域の方々の声に耳を傾けることの責任を感じた年でもありました。



鈴木清美 議会議長  
Kiyomi Suzuki

報が連日報道されておりました。

本村においても家屋、道路、水路、田畑等における被害がございました。改め

た。

近年の地方分権に伴い住民に身近な地方議会の果たすべき責任と役割はますます重要となっております。

村議会でも新たな取り組みを模索しながら、地域に目を向け、村民の皆様の意見が効果的、また効率的に行政に反映されるためにも、村執行部と共に議論をし、村民の皆様が安全で安心して暮らせる村づくりのために、より一層の議会改革に努めていくことが大切であると考えております。

本年においても少子高齢化、教育、産業振興等、諸課題が山積しております。しかし、今年は東京オリンピックの開催を控え日本中が新鮮な気持ちで期待感を持ち前進する希望に満ちた一年であります。

今年の干支は「子<sup>ねずみ</sup>」、十二支は子より始まります。子年は新しい運気のサイクルの始まりであり、草木の生命や成長等、未来への大いなる可能性を感じさせる

年といわれています。また「子孫繁栄」の象徴でもあるため、人口減少を食い止めるため、人口増に繋がる政策提言、教育の充実、産業振興の発展等、諸問題解決に向け執行部と議会が一丸となって取り組んで参りますので、今後とも村民の皆様のご指導ご協力を賜りますようよろしくお願いを申し上げます。

結びに村民の皆様方にとって、本年も実り多き素晴らしい年になりますよう心よりご祈念いたしまして、年頭のあいさつといたします。



## 夢、志を持ち、未来に輝く

令和二年 明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、穏やかに新年を迎えられたことと思います。

私は、昨年途中から教育長職を拝命しました。これまでに村内の関係の皆様には、ご意見やご助言、多くのご支援をいただきました。紙面をお借りしまして、御礼を申し上げます。暦の上では新しい年を迎えたとは言え、年度のまとめの時期となります。一層の緊張感を持ち、職務に当たりたいと思います。

新しい年に希望を抱きつつ将来の社会を担う子どもたちが、希望を抱き自ら夢を達成できる環境を整える必要があります。

「希望の持てる環境」  
「希望を実現できる力」

教育行政に関わるものとして、これらの実現のために、国、県、他地区での教育行政の情報把握し、展望を持った施策を実施しています。

昨年末、本村の二つの小学校の6年生代表が「子ども議会」で質問を行いました。子どもたちが、課題として掲げた内容は、身近な課題として  
・高齢者の交通事故防止対

策  
・全国ワースト1の疾病への対応  
・村内への施設設備の充実  
・通学路の安全対策  
・今日的課題として  
・地球温暖化問題

うに思います。  
教育委員会では、現在、今後の村の教育のあり方について議論を深めているところです。久保木村長、教育委員、教育委員会事務局で議論を行った総合教育会



鈴木一正 教育長

Kazumasa Suzuki

です。質問の内容は、私たち大人が直面している課題と共通しているのです。子どもなりに、自らの将来に對して課題意識を持ち、自ら解決していこうという姿勢が表れており、たくましさを感じました。同時に、大人へ奮起を促しているよ

議で出た今後の本村の教育の方向性をお示しいたします。  
「夢を実現する」「地域で育む」「生涯をいきいき生きる」  
基本的方針として、次の五点を検討していきます。  
一、夢を持ち、実現するた

めの必要な力の育成  
二、社会の持続的な発展をけん引するための多様な力の育成  
三、生涯学び続け活躍できる環境整備  
四、誰もが社会の担い手となるための学びの構築  
五、教育施策推進のための基盤整備

人生百年という言葉が頻繁に伝えられますが、現役時代と同じくらいの時間をどのように過ごすのか考える必要に迫られます。一度職業を退いた後に、自ら学び直し、新たな分野で挑戦できる力を育む必要があります。私ごとですが、IT機器を使いたいと思っても使い方が分かりません。言葉で表現されたもの（文字音声等）から正確に読み取ることができないと十分に使うことができません。どんな力が必要か。それは、「言葉をしつかりと理解する力（読解力）」といわれています。子どもも大人も身につけなければならぬ力です。

次に必要なことは、地域全体で子どもたちの教育を担うということです。学校任せ、家庭任せ、地域任せではその効果が半減してしまいます。「任せきり」ではなく、子どもも大人も主体的に取り組む環境を整える必要があります。この点で、本村では、地域で子どもたちの居場所作りに取り組んでいる地区もあります。また、地域の皆様と子どもたちが交流する場の設定に取り組んでいる地区もあります。これらの取り組みは、全て地域の皆様が主体的に取り組み始めたことです。行政機関では、このような取り組みを支援していきたいと思っています。次年度、立ち上げる地域学校協働本部や学校運営協議会（コミュニティースクール）もその役割を担います。学校教育活動に「教育支援ボランティア」の皆様が活動していただいています。地域の宝（子ども）を地域で育む環境整備を一層進めていきたいと思います。